

# 困難事例との向き合い方

～アセスメント力を高めて最適な支援法を導きだす～

【講師】

日本女子大学 名誉教授  
渡部 律子 先生



皆さんは日々のケアマネ業務で「難しいなあ」と思う事例があった時、どうしていますか？なぜそうなったのか？振り返り、自分で理由を考えていらっしゃいますか？今回の研修は、いわゆる『支援困難事例』の背景には何があるのか？を考えていきます。渡部先生の講義をはじめ、個人演習・グループ演習をおり交せて、皆さんが実践に応用できる研修の構成になっています。ぜひ、一緒に研鑽を積みましょう！！

## 開催日時

令和6年11月21日(木)

13:30～17:00

## 受講要件

- ・事前課題（20分程度で可能）をご準備できる方。別紙ご参照ください。
- ・中堅（3～4年の相談援助の経験）以上を対象とした内容になっています。

## 会場

Z o o m開催 【定員 45名】

(定員になり次第締め切らせていただきます)

(お一人1台のPCでの参加をお願いします)

## 受講料

日田市協会会員 1,000円

日本協会会員 3,000円

非会員 5,000円

こちらから申し込み下さい



## 申し込み・

R6年11月2日(土)

## 振込締め切り

※振込完了時、協会にメールをお願いします。

※研修時に事前課題の事例を記入してお手元にご準備ください。

振込先 ゆうちょ銀行

ゆうちょからの振り込み

口座記号 17200

口座番号 25725151

名義 日田市介護支援専門員協会

※ゆうちょ以外からの振り込み

店番 七二八 店

口座番号 2572515

名義 日田市介護支援専門員協会

お問合せ：日田市介護支援専門員協会：担当幹事：千原

(さくらケアプランサービス日田：TEL 23-0008 ✉hita-cma@outlook.com)

# ～講師紹介～

## 日本女子大学 名誉教授 渡部 律子 先生

### 【経歴】

- 1953年 大阪府生まれ。
- 1976年 関西学院大学社会学部卒業 社会福祉専攻
- 1978年 同大学大学院修士課程修了
- 1977年～1982年 相談援助業務に従事
- 1982年～1995年 アメリカに滞在 この間、ミシガン大学において社会福祉学修士（1983年）心理学修士（1987年）、学術博士（PhD、心理学とソーシャルワークをダブル専攻1990年）を取得 この間、ソーシャルワーカーとして臨床実践も経験
- 1990年～1994年 アメリカの社会福祉大学院（ニューヨーク州立大学バッファロー校、シカゴ大学）で 高齢者福祉専攻の学生を中心に教育を実践。社会福祉援助技術論、実習などを担当
- 1995年～1999年 関西学院大学総合政策学部助教授
- 1999年～2011年 同大学教授
- 2011年～2021年 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授として、大学での教育を行う
- 2021年～ 日本女子大学名誉教授  
（1995年から現在まで、社会福祉実践家の現任教育にも実施 在宅介護支援センター職員、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー、介護福祉士などの現任研修、事例検討会、スーパービジョンなどに携わる）  
「月刊ケアマネジャー」で連載（2021年3月～2022年5月「プロフェッショナルの視点相談援助技術を磨くー省察的实践」  
2022年6月～2023年3月「今求められるプロフェッショナルの視点」を連載）

### 【著書】

『基礎から学ぶ気づきの事例検討会』、『「人間行動理解」で磨くケアマネジメント実践力』、『高齢者援助における相談面接の理論と実際』、『福祉専門職のための統合的・多面的、アセスメント』など他多数。



## 事前課題

お願い文：

皆様、今回の研修への申し込みありがとうございました。講師を務めさせていただく渡部律子です。

研修内容が皆様の現場での仕事に応用しやすくなるような構成を考えております。つきましては、研修内でグループでの話し合いも、ご自身の経験に基づいたものにしていく予定です。そこで事前課題をお願いいたします。研修当日、この課題をご持参の上、グループでの話し合いに活用してください。

受講前課題：ケアマネとしてこれまで担当した事例を思い出してみてください。その中で、「最初は困難なケースだと感じたけれど、最終的には適切な支援ができた」事例を選んで、その概要を書いてみてください。

この内容は研修において使用することが目的です。内容の秘密保持原則を徹底いたします。必要に応じた仮名使用・一部修正をしていただいても結構です。下にあるケースの概要様式は必要に応じて枠を広げてください。かまいません。手書きでも PC 入力でもご自由にお使いください。

《ケースの概要》

利用者に関して以下お分かりになる範囲で、ご記入ください。

(1) 年齢 (初回面接時)	( ) 歳	(2) 利用者の性別	男 女
(3) 初回要介護度に○ (変更後の要介護度は□)	要支援 1 2 要介護 1 2 3 4 5	(4) ケアマネ担当期間	( ) 年
(5) 主疾病・症状			
(6) 家族構成 (ジェノグラム)			
(7) 支援に関わったそのほかの機関・他職種			

【利用者や家族のおかれていた状況の概要】
【難しさを感じた理由】
【最終的に支援がうまくいったと考える理由】